1補助金の概要 【No.30】

一冊切並の佩女										[140.50]
補 助 金 名 称	旭川市交通	安全運動	推進委員会	運営費補助	金					
補助金の性格	団体への運	営費補助					始期	S43	終期	-
予 算 事 業 名	交通安全效	対策費					(事業コ	ード)	10210	
所 管 部 署	防	災安全 部	交	通防犯 課			係「	電話番号	353	1
交付先(団体、個人等)	旭川市交通	旦川市交通安全運動推進委員会								
交付目的	(対象) 誰、何に対	して	全市民に対	付して						
	(意図) どういう状態	態にしたい	交通安全の	D組織的な流	舌動を推進	し,市民を変	を通事故が	から守る。		
対象事業等の内容	関係機関・ 等) や、幼児							全教室(老人)。	クラブ、シニ	ア大学
積算方法						00				
	① 交通安全市	市民総ぐるみ運	動(年間4期40月	日間)参加者数	単位:人	② 市民大会	,交通安全教	枚室等の開催回数	対及び参加者数	単位:回(人)
事業量指標と過去5年間	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
の実績	600	600	600	600	600	171 (13,098)	23 (16,55			293 (22,518)
	① 交通事	故発生件数	χ		単位:件	② 交通事	故死者数	及び交通事	故傷者数	単位:人(人)
成果指標と過去5年間の	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
実績	511	492	416	477	506	6 (618)	(584	2 8 4) (491)	(549)	5 (587)

2収支状況等 単位:千円

前年度繰 市補助金 協議会負 その他 合計	È	令和3年度(決算) 9 2,951	令和4年度(決算) 9 2,951	令和5年度(決算) 4 2,951	令和6年度(決算) 54 2,951	令和7年度(予算) 37 2,951
市補助金 協議会負 その他 合計	È	2,951		2,951		
協議会負 その他 合計	_	2,951	2,951	2,951	2,951	2,951
その他 (合計	担					,
.合計						
.合計						
.合計						
		49	28	172	7	1
		3,009	2,988	3,127	3,012	2,989
助率(%))	98.1%	98.8%	94.4%	98.0%	98.7%
合計		3,000	2,984	3,073	2,975	2,989
うち食糧費	貴、交際費					
度繰越		9	4	54	37	0
財源		2,951	2,951	2,951	2,951	2,951
財源						
工聯昌	人工	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
正嘅貝	金額	3,003	3,069	3,102	3,133	3,230
臨時・嘱託/会計年度任用職員						
他事務費						
-		5,954	6,020	6,053	6,084	6,181
象者数		326,057	322,527	318,088	314,101	314,101
単位コスト(単位:円)	18	19	19	19	20
土温	1 車 佰	◆ 支出根拠が法令、条	例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	り、支出範囲が法令の規	定に抵触しない
7.00	2 7	◆ 交付申請等が定めた	ことおりになっている			
団体	の運営、	◆ 会計処理が適正であ	る ◆ 設立目的	的、事業内容等と補助目的	りとの整合性がとれている	3
会計						
			†責任者のもと行われて	おり、また、総会時におい	て監事から会計監査報告	を受けていることから、
	度繰越 財源 正職時・嘱託/会 他事務 を を を を を は し は は は は は は は は は は は は は	財源 財源 正職員 人工 金額 ^{臨時・嘱託/会計年度任用職員} 他事務費 を者数 位コスト(単位:円) 共通事項 団体の運営、 会計処理等	度繰越 9 財源 2,951 財源 正職員 人工 0.4 金額 3,003	度繰越 9 4 財源 2,951 2,951 財源 正職員 人工 0.4 0.4 金額 3,003 3,069 臨時・嘱託/会計年度任用職員 5,954 6,020 な者数 326,057 322,527 位コスト(単位:円) 18 19 共通事項 ◆ 支出根拠が法令、条例、規則、要綱等に基づ ◆ 交付申請等が定めたとおりになっている 団体の運営、 ◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的 会計処理等 ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から当 会計処理については会計責任者のもと行われてお	度繰越 9 4 54 財源 2,951 2,951 2,951 財源	度繰越 9 4 54 37 財源 2,951 2,951 2,951 2,951 財源

※人件費(正職員分)は、令和3年度7,508千円、令和4年度7,673千円、令和5年度7,755千円、令和6年度7,833千円、令和7年度8,076千円で計算。

3個別項目に対する評価 [No 30]

O III	コルカロ トンシャ の叶	- Іш	[140.30]				
	項目	チェック項目等 	→ 評価				
		◇ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する				
	/ ₄∖┴Æ ₩#	◆ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外					
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する				
			□ 合致しない				
ľ		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する				
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定					
		◆ 上記以外	■ 合致しない				
1 (◇ 団体 1/2以内	□ 合致する				
	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内					
補助金交付基準と	基準	· ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内					
助		◆ 上記以外	■ 合致しない				
金衣		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)				
又		The property of the property o	口 有(4年以上)				
其		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満				
準		◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体、奨励目的補助ではな				
غ	(4)見直し期間	TO THE STATE OF TH	い(対象外)				
の	(終期設定)		■ 同一団体補助だが、見直し設定				
適			していない				
適合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定				
生			していない				
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する				
	(支出根拠)	▼ 大門が程は間にあり、とが金字に自然でいたが表現を表現とは関係◆ 上記以外	□ 合致しない				
	(Дипире)	◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	■ 合致する				
		◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	【				
	(6)支出を証する	◆ 裏鏡報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する				
	書類の添付	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)					
		◇ 自想以外	□ 合致しない				
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)				
		・交通事故防止の意識啓発に積極的に推進しており、交通事故発生件数及び傷者数は年	【生の内谷を踏まえての計画) ■ 公益性が高い				
21	公益性	文価事政防止の急調を完に積極的に推進しており、文価事政先工件数及び陽省数は平 度毎の増減はあるものの着実に減少していることから、広く市民に効果が行き渡っており、	■公無注が高い				
		公益性が高い。	ローム 女性 が立い しけ 言ったい				
		/- のせい人 に // エーナ フローナ - 日 は か / - ココーナ /	□ 公益性が高いとは言えない				
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)				
31	必要性	・設定した事業量指標の実績が年度毎の増減はあるが、一定数ある。 ・廃止・縮小すると交通事故発生件数及び傷者数の増加が見込まれ、市民生活に大きな影響を及ぼす	┃■ 必要性が高い				
		・補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない	□ 必要性が高いとは言えない				
			(左の内容を踏まえての評価)				
4 ٨	4 EE	・設定した成果指標が年度毎の増減はあるが、減少傾向にある。	■効果が高い				
4%	力果	・交通安全運動や市民大会等による啓発活動や交通安全教室等の開催により、交通事故発生件					
		数、傷者数については、年度毎の増減はあるものの減少傾向にある。	□ 効果が高いとは言えない				
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。					
57	その他	1(2) 事業の性質上、受益者負担にはなじまない。 1(3)市(行政)の交通安全対策事業を民間の企業や団体等とともに、より効果的に推進することを目]的として設置された経緯があり、市の補				
		助以外に収入がないことから、画一的に補助率を定めることは妥当でない。 1(4)当初の設置目的からなる性格上、行政と一体となって行う活動が存立意義であり、行政の補助金による運営に頼らざるを得ない。					

4令和3年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

<u>(1」以許加)</u>	
	旭川市交通安全運動推進委員会運営費補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	_
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の見直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果
	_

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	交通事故防止の意識啓発活動を、限りある補助金の範囲内でより効率的な成果を出す。
解決に向け	た取組	交通事故防止の啓発活動をより多くの市民に向けて発信する。

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価		近年、飲酒運転やあおり運転、ながら運転などの危険運転が増加しており、交通事故の形態も多様化している。交通安全対策は市の 責務であり、同委員会は交通安全思想の普及や交通安全意識の啓発に大きな役割を担っている。
外部評価	1	
2次評価	継続	_

1補助金の概要 【No.31】

補 助 金 名 称 旭川市暴力追放運動推進協議会活動補助金	- 03 533				
予 算 事 業 名 地域安全活動推進費 (事業コード) 1021 所 管 部 署 防災安全 部 交通防犯 課 係 電話番号 3.					
所 管 部 署 防災安全 部 交通防犯 課 係 電話番号 3.					
	533				
交付先(団体、個人等)加川市暴力追放運動推進協議会					
入17.0、11.1、17.1.1.1。					
(対象) 主、何に対して 全市民に対して					
(意図) 個人・集団を問わず一切の暴力を追放するため、暴力排除意識の高揚、暴 どういう状態にしたい の推進を図り、明るく犯罪のない住みよい地域をつくる。	力追放運動				
対象事業等の内容 暴力追放に関する啓発普及並びに関係機関及び団体との連絡調整					
積算方法 申請内容を審査し、予算の範囲内で適当と認めた額					
① 暴力追放市民大会参加者数 単位:人 ② 街頭啓発活動参加者数	単位:人				
事業量指標と過去5年間 R02 R03 R04 R05 R06 R02 R03 R04 R05	R06				
の実績 0 81 85 101 91 0 0 52	53 58				
① 犯罪発生件数 単位:件 ②					
成業指標と過去3年间の R02 R03 R04 R05 R06 R02 R03 R04 R05	R06				
実績 1,211 1,156 1,327 1,465 1,195					

2四支状況等 単位・千円

24	义文制	犬況等						単位∶千円
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
		前年度網	操越	1	1	1	21	22
補	収	市補助金		600	600	600	600	600
助対	入	協議会負担						
象	内							
事	訳							
助対象事業等		その他						
の	収入	合計		601	601	601	621	622
収支状	市補	動率(%)	99.8%	99.8%	99.8%	96.6%	96.5%
又状	支出	合計		600	600	580	599	622
況	うち食糧費、交際費			0	7	7	8	10
	次年	度繰越		1	1	21	22	0
	一般財源			600	600	600	600	600
		財源						
市	人	正職員	人工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
市負担額	件	工概貝	金額	751	767	776	783	808
額	費	臨時·嘱託/会計年度任用職員						
	その	他事務費	ŧ.					
	合計	 		1,351	1,367	1,376	1,383	1,408
受:	益対	象者数		326,057	322,527	318,088	314,101	314,101
補」	助金島	単位コスト	(単位:円)	4	4	4	4	4
		# 2	事項	◆ 支出根拠が法令、条	例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	的、支出範囲が法令の規	定に抵触しない
	団体の運営、		中央	◆ 交付申請等が定めた	ことおりになっている			
٠ ٠٠ .			本の運営、	◆ 会計処理が適正であ	うる ◆ 設立目的	的、事業内容等と補助目の	的との整合性がとれていん	3
週	格性	会計	†処理等		:(剰余金)が補助額から			
				会計処理については会言適正に処理されている。	†責任者のもと行われてる	おり、また、総会時におい	て監事から会計監査報告	舌を受けていることから、
- NI	1 1/1		7 // \ / / /	S和2年度7 F00千円 .	<u> </u>	^ 	_ <u> </u>	- ^ 1

※人件費(正職員分)は、今和3年度7,508千円、令和4年度7,673千円、令和5年度7,755千円、令和6年度7,833千円、令和7年度8,076 千円で計算。 3個別項目に対する評価 [No 31]

პ 1	╝別頃日Ⅰ−刈りる計	F1IIII	[No.31]
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◇ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	□ 合致する
	/a\4\4\#	↓ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◆ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	■ 概ね合致する
1		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する
	(2)受益者負担		
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	◆ 上記以外	■ 合致しない
		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
助介		◆ 上記以外	■ 合致しない
補助金交付基準と		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
文付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準	(4)見直し期間 (終期設定)	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体、奨励目的補助ではな
			い(対象外)
の			□ 同一団体補助だが、見直し設定
適合性			していない
台灣			┃ □ 奨励目的補助だが、終期を設定
生			していない
	(5)交付規程 (支出根拠)	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	■ 合致する
		◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	「※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する		□ 概ね合致する
	書類の添付		
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		・市民が安全に安心して暮らせるまちづくりを推進するため、旭川市暴力追放運動推進協	■ 公益性が高い
21	公益性	議会が実施する事業は重要であり、極めて公益性が高い。	
			□ 公益性が高いとは言えない
		▲ (この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
0.8	ᄼᄑ	・本補助金を廃止・縮小すると、犯罪件数が増加することで社会不安が広がり、市民生活の基盤であ	
34	必要性	る治安が悪化するなど市民生活に大きな影響を及ぼすため、必要不可欠な補助金である。	
		・補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない。	□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4効果		・成果指標である犯罪発生件数は減少傾向であることから、一定の効果が認められる。 ・暴力団の追放は職域・地域が一体となって全市的に取り組む必要があることから、ノウハウを有する北海道警	■ 効果が高い
7		「暴力団の追放は職場・地域が一体となりと主印的に取り組む必要があることがら、アナバッを有する北海道言察を核としつつ、旭川商工会議所や旭川PTA連合会等の団体で構成されている本協議会に補助する方が、最少	
		の費用で最大の効果を得ることができ費用対効果が大きい。	□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
		1(2) 対象事業の性質上、受益者を具体的に特定することが著しく困難である。	
53	その他	1(3) 市(行政)の暴力追放活動を民間の企業や団体等とともに、より効果的に推進することを目的。 以外に収入がないことから、画一的に補助率を定めることは難しい	として設直された経緯があり、市の補助
		1(4) 安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するためには、本事業を継続的に実施する必要があ	5ることから、見直し期間や終期は設定し
		ていない。	

4令和3年度行政評価への対応状況等

(行政評価)

補助金名称(当時)	旭川市暴力追放運動推進協議会活動補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	_
(2)対応年度	具体的な内容と効果
	_
(その他の見直し)	

((の他の元色し)	
目直しの任度	具体的な内容と効果
光色しの干皮	共体的な内存と対象
	<u> </u>

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	į	限られた予算の中で、効果的な啓発方法を導入することが困難である。
解決に向けた耳	取組	予算の範囲内で実施可能な効果的な啓発方法について、警察や商工会議所などの関係機関と連携し、検討を行う。

評価	結果	理由、改善・見直しの方向					
1次評価		全国的に暴力団抗争が続いており、本市には当該指定暴力団直系組織があるため、暴力団抗争が発生する可能性がある。このため、 企業、地域、行政機関等が一体となって暴力団に対抗する必要があることから、当協議会への継続した補助金の交付が必要である。					
外部評価	1	_					
2次評価	見直し	費用対効果が高い啓発活動への見直しを前提に補助金の減額を検討すること。					

1補助金の概要 【No.32】

111111111111111111111111111111111111111										K
補助金名称	地域安全活	5動補助金	(旭川中央	防犯協会)						
補助金の性格	団体への遺	E 営費補助					始期	Н9	終期	_
予 算 事 業 名	地域安全活	5動推進費					(事業コー	-ド)	10210	3
所 管 部 署	防	災安全 部	交	通防犯 課			係電	話番号	350	32
交付先(団体、個人等)	旭川中央防	 打犯協会								
交付目的	(対象) 誰、何に対	して	全市民に対	付して						
	(意図) どういう状態					識の高揚及	び自主防犯	厄活動の推	進を図り、	犯罪のない
対象事業等の内容		カ、(4)子ど	高揚に関わる もの見守り1 や薬物の排	こ関わる活	動、(5)高幽					
積算方法	申請内容を	∼審査し、予	・算の範囲[7	内で適当と記	忍めた額					
	① 旭川市	民防犯大会	参加者数		単位:人	2				単位:
事業量指標と過去5年間	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
の実績	47	35	65	89	145					
	① 犯罪発	生件数			単位:件	2	•			単位:
成果指標と過去5年間の	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
実績	1,211	1,156	1,327	1,465	1,195					

		人儿守					单位. 十口
			令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
		前年度繰越	122	370	266	232	169
補	収	市補助金	200	200	200	200	200
助対	入	協議会負担					
象	内	会費	2,869	2,689	2,740	2,850	2,600
事	訳						
対象事業等		その他	681	327	292	132	100
の	収入	(合計	3,872	3,586	3,498	3,414	3,069
収支	市補	輔助率(%)	5.2%	5.6%	5.7%	5.9%	6.5%
支状	支出	H合計	3,502	3,320	3,266	3,245	3,069
況		うち食糧費、交際費					
	次年	F度繰越	370	266	232	169	0
	一般	设財源	200	200	200	200	200
	特定財源						
市	件	上職員 人工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
負担額		金額	751	767	776	783	808
額	費	臨時•嘱託/会計年度任用職員					
	その)他事務費					
	合計	†	951	967	976	983	1,008
受	益対	象者数	326,057	322,527	318,088	314,101	314,101
補具	助金	単位コスト(単位:円)	3	3	3	3	3
		共通事項	◆ 支出根拠が法令、祭	そ例、規則、要綱等に基づ	づいている ◆ 支出目的	的、支出範囲が法令の規	見定に抵触しない
		八匹爭項	◆ 交付申請等が定めが	たとおりになっている			
\- .1	LE LA	団体の運営、	◆ 会計処理が適正であ	ある ◆ 設立目的	的、事業内容等と補助目	的との整合性がとれてし	v る
週	格性	会計処理等		き(剰余金)が補助額から			
			会計処理については会える、適正に処理されてい	計責任者のもと行われて	おり、また、総会時にお	いて監事から会計監査報	最告を受けていることか
			り、週丘に処理されてい	· つ 。			
					^ 		

※人件費(正職員分)は、令和3年度7,508千円、令和4年度7,673千円、令和5年度7,755千円、令和6年度7,833千円、令和7年度8,076千円で計算。

3個別項目に対する評価 【No.32】

با ت	型が独口に対する。	I IM	[110.32]
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◇ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	(1)対象経費	◆ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
		◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◆ 上記以外	■ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
助		◇ 上記以外	□ 合致しない
並		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			口 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準		◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体、奨励目的補助では
	(4)見直し期間 (終期設定) (5)交付規程 (支出根拠)		ない(対象外)
の			■ 同一団体補助だが、見直し設
週合			定していない
適合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設
1-			定していない
		◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
		◇ 上記以外	□ 合致しない
	(6)支出を証する 書類の添付	◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	■ 合致する
		◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
		◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
		◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
24	· 益性	市民が安全に安心して暮らせるまちづくりにとって、旭川中央防犯協会が実施する事業	■ 公益性が高い
	7 III. I	は重要であり、公益性は非常に高い。	
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3 1	4.亜性	・犯罪予防に関する専門知識・能力を有する中央警察署を核とし、住民や様々な企業等で構成される旭川中央防犯協会が地域自主防犯活動を直接的・具体的に行い、市は同協会に補助金を交付	■ 必要性が高い
3必要性		する、という行政手法は、地域自主防犯活動の推進にとって、効率的・効果的であることから、補助	
		の必要性は高い。	□ 必要性が高いとは言えない
4効果		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		・犯罪発生件数は10年前と比べ約半数に減少していることから一定の効果が認められ	■ 効果が高い
		వ ం	 □ 効果が高いとは言えない
		 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	1 WYW 1914 C100 11 (C104)
		1(2) 市民全員を対象とする事業の性質上、受益者を具体的に特定することが著しく困難であるが	、当協会の会員からは会費を徴してい
53	の他	వ 。	
		1(4) 安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するためには、本事業を継続的に実施する必要が していない。	あることから、見直し期間や終期は設定

4令和3年度行政評価への対応状況等

(行政評価)

補助金名称(当時)	地域安全活動補助金(旭川中央防犯協会)
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	_
(2)対応年度	具体的な内容と効果
	-

(その他の見直し)

具体的な内容と効果
ストロンの「一十二の人
<u> </u>

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課 題 近年、犯罪件数は減少傾向であるが、特殊詐欺や投資詐欺など新しい犯罪が増加しており、その対策が課題となっている。 解決に向けた取組 旭川中央防犯協会と北海道警察等が連携し、本補助金を活用することで新しい犯罪対策の普及・啓発を進める。

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	継続	旭川中央防犯協会は、旭川中央警察署管内での犯罪防止の啓発を行う中核的な団体であり、本市の安全で安心なまちづくりに大きく 貢献しているため、本市としても、継続して旭川中央防犯協会を支援(補助)していく必要がある。
外部評価	ı	_
2次評価	見直し	会費収入が増加傾向であることを踏まえ、補助金の減額を検討すること。

1補助金の概要 【No.33】

110.00										K
補 助 金 名 称	地域安全活	5動補助金	(旭川東防	犯協会)						
補助金の性格	団体への遺	E 営費補助					始期	H9	終期	-
予 算 事 業 名	地域安全活	5動推進費					(事業コー	-ド)	10210	3
所 管 部 署	防	防災安全 部 交通防犯 課					係電	話番号	350	32
交付先(団体、個人等)	旭川東防狐	口協会								
	(対象) 誰、何に対	して	全市民に対	付して						
	(意図) どういう状態					識の高揚及	び自主防犯	厄活動の推	進を図り、	犯罪のない
対象事業等の内容		カ、(4)子ど	高揚に関わる もの見守り1 や薬物の排	こ関わる活	動、(5)高幽					
積算方法	申請内容を	∼審査し、予	・算の範囲[7	内で適当と記	忍めた額					
	① 旭川市	民防犯大会	会参加者数		単位:人	2				単位:
事業量指標と過去5年間	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
の実績	47	35	65	89	145					
	① 犯罪発	生件数			単位:件	2		•		単位:
成果指標と過去5年間の	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
実績	1,211	1,156	1,327	1,465	1,195					

	1,5 4,1	人况寺	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)		
		前年度繰越	356	356	520	494	564		
補	II	市補助金	200	200	200	200	200		
助	収入	協議会負担							
助対象事業等	内	会費	1,639	1,613	1,533	1,663	1,683		
事	訳	地区防助成金	350	350	240	180	180		
業生		その他	203	188	192	140			
の	収入	合計	2,748	2,707	2,685	2,677	2,627		
収	市補	輔助率(%)	7.3%	7.4%	7.4%	7.5%	7.6%		
支状	支出	出合計	2,392	2,187	2,191	2,113	2,627		
況		うち食糧費、交際費							
	次年	F度繰越	356	520	494	564	0		
	一般	段財源	200	200	200	200	200		
	特定財源								
市	人	正職員 人工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
負担額	件	金額	751	767	776	783	808		
額	費	臨時·嘱託/会計年度任用職員							
	その)他事務費							
	合計	†	951	967	976	983	1,008		
受:	益対	象者数	326,057	322,527	318,088	314,101	314,101		
補具	助金	単位コスト(単位:円)	3	3	3	3	3		
		共通事項	◆ 支出根拠が法令、条例、規則、要綱等に基づいている ◆ 支出目的、支出範囲が法令の規定に抵触しない						
		八匹爭攻	◆ 交付申請等が定め <i>†</i>	ことおりになっている					
\ 3 **	ᄔᄼ	団体の運営、	◆ 会計処理が適正であ	ある ◆ 設立目的	り、事業内容等と補助目	的との整合性がとれてし	いる		
週′	格性	会計処理等		(剰余金)が補助額から					
			会計処理については会認 ら、適正に処理されてい		おり、また、総会時におい	ハて監事から会計監査報	6告を受けていることか		

※人件費(正職員分)は、令和3年度7,508千円、令和4年度7,673千円、令和5年度7,755千円、令和6年度7,833千円、令和7年度8,076千円で計算。

3個別項目に対する評価 【No.33】

O III		ГІШ	[140.55]
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◇ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	/4/44条织曲	◆ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◆ 上記以外	■ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
助		◇ 上記以外	□ 合致しない
金交		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付付			口 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準と		◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体、奨励目的補助では
	(4)見直し期間		ない(対象外)
の	(終期設定)		■ 同一団体補助だが、見直し設
適合			定していない
台性			□ 奨励目的補助だが、終期を設
江			定していない
	(5)交付規程 (支出根拠)	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
		◇ 上記以外	□ 合致しない
	/a\-t-u-t===	◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	■ 合致する
		◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	書類の添付	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
٠,	\ } 	市民が安全に安心して暮らせるまちづくりにとって、旭川東防犯協会が実施する事業は	■ 公益性が高い
21	公益性	重要であり、公益性は非常に高い。	
			□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		・犯罪予防に関する専門知識・能力を有する東警察署を核とし、住民や様々な企業等で構成される	■ 必要性が高い
3业	必要性	旭川東防犯協会が地域自主防犯活動を直接的・具体的に行い、市は同協会に補助金を交付する、 という行政手法は、地域自主防犯活動の推進にとって、効率的・効果的であることから、補助の必	
		という1 政子法は、地域日王初北治勤の推進にとうで、効率的・効未的であることがら、補助の必 要性は高い。	□ 必要性が高いとは言えな
			U'
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	
4亥	力果	・犯罪発生件数は10年前と比べ約半数に減少していることから一定の効果が認められ る。	■ 効果が高い
			□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
		1(2) 市民全員を対象とする事業の性質上、受益者を具体的に特定することが著しく困難であるが	
53	その他	る。 4 (4) ウムマウン マギンリスナム ギバリナザ サフム はには、大東 **ナ (4) (まわに) ウヤナス 2 英 (5)	+ 7 - 1 los - Cat #800 it /6 #811 =8 +
		1(4) 安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するためには、本事業を継続的に実施する必要がる していない。	めることから、兄旦し期间や終期は設定

4令和3年度行政評価への対応状況等

(行政評価)

<u> </u>	
	地域安全活動補助金(旭川東防犯協会)
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	_
(2)対応年度	具体的な内容と効果
	_
(その他の見直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果
	_

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課 題 近年、犯罪件数は減少傾向であるが、特殊詐欺や投資詐欺など新しい犯罪が増加しており、その対策が課題となっている。 解決に向けた取組 旭川東防犯協会と北海道警察等が連携し、本補助金を活用することで新しい犯罪対策の普及・啓発を進める。

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価		旭川東防犯協会は、旭川東警察署管内での犯罪防止の啓発を行う中核的な団体であり、本市の安全で安心なまちづくりに大きく貢献しているため、本市としても、継続して旭川東防犯協会を支援(補助)していく必要がある。
外部評価	ı	_
2次評価	見直し	補助金額は繰越金の状況を踏まえ検討すること。